



大森六中だより

令和6年 7月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



みんなを笑顔に

心のSOSについて

運動会が終わり、2年生の職場体験や1年生の社会科見学もそれぞれ目標を達成して無事に終わりました。

こうした行事に、普段登校できなかつたり、教室に入れなかつたりする生徒が参加できる場合があります。そうした生徒は、教室の中は閉鎖的な空間で息苦しさを感じるけれど、教室を離れる活動ならば多少は楽に感じ参加できるのかも知れません。しかし、普段の授業には参加していないことを負い目に感じて、人の目が気になることも少なからずあるでしょう。ですから、そうした生徒が参加できた時には、その勇気を褒めたいと思います。

一方で、普通に教室で授業を受けているけれど、決して楽しいわけではない、どちらかといえば苦しい思いを堪えながら生活している生徒もいるでしょう。そのような生徒にとっては、前述の生徒が行事にだけ参加してずるいと思うのも無理ないことかも知れません。しかし、その思いをそのまま口にしてしまうと、勇気を奮って参加した生徒は、参加しなければ良かったと、さらに学校から足が遠のいてしまうかも知れません。

苦しい思いをしながら教室で授業を受けている生徒は、その苦しい思いを誰か

に打ち明けてください。自分は大丈夫と無理を重ねても、良いことは何もありません。どれだけ無理をしているか、自分では気づき難いものです。そこで、以下に当てはまることはないか、チェックしてみてください。

- ☐ 寝付けない、夜中に目が覚める
- ☐ 朝なかなか起きられない
- ☐ 食欲がない 食べ過ぎてしまう
- ☐ 急にやせた、太った
- ☐ 集中できなくなった 決断できなくなった
- ☐ 疲れやすい 体だるい
- ☐ やる気が起きない 長続きしない
- ☐ 学校に行きたくない
- ☐ これまで好きだったことに興味がなくなった
- ☐ イライラする 落ち着かない
- ☐ 不安に感じたり、悲しい気持ちになったりすることが増えた
- ☐ 自分は他の人よりも劣っていると感じてしまう

こうしたことに1つでも当てはまるなら、信頼できる周囲の大人に相談してみてください。自分が期待する言葉が返ってなくても諦めず、少なくとも3人まで相談してみてください。あなたの気持ちを理解してくれる人は必ずいます。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

第1回研究授業

6月26日(水)に、
第2学年道徳教材
「自分ってなんだろう」を用いて研究授業



業を実施しました。この授業では、自分らしく自分を表現できるような環境づくりや関係づくりから、多様な考えを受け止め、自分の世界を広げる力につなげることをねらいとして実施したものです。持続可能な社会の実現には、多面的・多角的に物事をとらえ、自分と異なる存在とも共感

できる力が必要であると感じます。「自分を受け止めてもらえた!」「分かってもらえた!」という体験が「相手を受け止めたい」「理解したい」につながるような場を今後も増やしていきます。

大岡山花壇整備6月

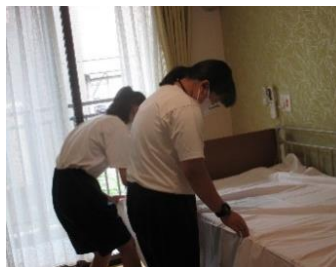
6月30日(日)に大岡山花壇整備を行いました。今回は清水窪小学校の児童・保護者とも一緒に活動し、芝桜の周囲の雑草取り、伸びたハーブの剪定とスワッグ作りをしました。



今月の行事報告

2年 職場体験

7月2日(火)～7月4日(木)の3日間、職場体験学習を実施しました。2年生の進路学習の中心となる取組で、社会に出て働くことの意義や厳しさを学ぶと同時に、社会的なルールやマナーを身につけるための学習です。どの事業所でも生徒たちが一生懸命に働いている姿や真剣に話を聞いてメモをとる姿が見られ成長を感じました。



1年 社会科見学

7月4日(木)に1年生が社会科見学を実施しました。中学生として初めての校外学習は、それぞれの班ごとに車で集合し、見学場所である SMALL WORLDS を目指しました。ゲームを通して「誰一人取り残さない社会」をどのように実現していくか考えるとともに、1/80 サイズの世界を楽しみました。また、午後に見学したそなエリア東京では、災害時に72時間生き抜く方法など体験を通して防災に対する意識を高めました。自分たちには何ができるのかこれからも考え続け、よりよい未来へとつながっていきましょう。

